



小浜地区の国道10号 渋滞解消策は

木野田 誠 議員

問 国道10号の渋滞緩和に向けて、過去に始良市と市道小田小浜線の延長について協議された経緯があるが、今後、どのような対応策で渋滞を緩和していくのか。

答 これまで始良市と協議し、トンネルや橋梁工事が必要とする施工区間があり、大きな財政負担を理由に、合意に至らなかった。その後、国や県に要望を行うこととしていたが、国道10号のバイパスである隼人道路の4車線化早期完成に向け、始良市とともに国へ要望活動を行っている。令和6年度の完成が予定されており、隼人〜加治木インター間の無料化や割引等の要望を行い、交通量の変化などに注視していく。

霧島公民館の方向性は
問 霧島公民館は、耐震性がないため解体、機能移転としていたが、最終的な結論はどうか。

答 建物の状態や立地条件が良好な霧島保健福祉センターに機能移転することに決定した。今後は、公民館利用者や地域住民に対する説明、利用実態等に関する調査を実施し令和6年度の移転を目指している。

その他の質問
・消防行政について
・防災行政無線の活用について



企業誘致の状況と 誘致後の係わりは

池田 綱雄 議員

問 旧国分市は、農業のまちで農閑期には出稼ぎや就職で都会へ出ていた。それが、商工業のまちへ大きく変わり人口が増えたのは、歴代市長が、どここの市町村よりも早く企業誘致に力を入れ、雇用の場を増やしたからである。企業誘致は、雇用を生み地域経済を潤す最も効果が早く出る手法だと考える。中重市政での新規や増設の企業数と何人の新規雇用があったか。

答 平成30年度からの企業誘致の成果として、新設は10件、増設は5件であり、301人の新規雇用を創出している。



問 誘致企業や進出企業を定期的な訪問し、企業が用地等で困り、市に相談された場合は、積極的に協力できないか。

答 誘致企業から寄せられる相談などには、懇切丁寧に応じて地域経済を支える企業として、持続的に発展していくよう迅速かつ的確に最大限の支援に努めたい。



第12回全国和牛能力共進会 鹿児島大会に向けて

厚地 覺 議員

問 令和4年10月に、全共が霧島市で開催されるが、本市の取組状況はどうか。

答 9月に、あいら地域全国和牛能力共進会出品対策協議会主催による繁殖雌牛郡区の集合調査会、11月に本市独自の集合調査会を実施した。県推進協議会からは、今後の飼養管理の方針に助言があった。今後は、選抜段階を迎えた繁殖雌牛の管理技術の指導や若雌などの新たな候補牛の掘り起こしを行い、専門指導員の巡回や関係機関、団体との緊密な連携による取組の強化を図っていく。



旧牧園高校畜産科の校舎



危険な公共施設の解体を
問 旧牧園高校畜産科の校舎と旧高千穂保育園の施設を早急に解体すべきではないか。

答 両施設とも建築後60年以上が経過し、老朽化が進んでいる。今後は、敷地内の除草を含めた管理に加え、建物の解体を検討していく。



小規模小学校の今後は

松元 深 議員

問 小規模小学校の現状と今後の在り方はどうか。

答 霧島市の小学校のうち、12学級未満の小規模校は24校で、そのうち6学級未満の極小規模校は16校で72名が通学している。小規模校では、児童の人間関係が固定化し、さまざまな意見や考え方に触れにくく、教師の指導技術が必要となっている。平成29年5月「これからの公立学校等のあり方」の中で、1学級以下の状態が発生すると見込まれる場合や当該小学校区の保護者や地域住民の合意形成がなされ、同地区から統廃合を希望する申出があった場合は、有識者からなる「霧島市小中学校規模及び通学区域

等適正化審議会」に諮問することとしている。

適正な森林管理を

問 森林管理制度の現状はどうか。

答 森林経営管理制度を円滑に推進するため、令和元年度から森林経営計画に登載されていない森林所有者に対し、森林管理に関する意向調査を行っている。経営管理を委託したい旨の回答を有者の森林は、経営管理権を取得した上で、計画的に間伐等の森林整備を実施していく予定である。



農商工連携で中山間 地域に元気を

愛甲 信雄 議員

問 今年、開催された「霧島市農商工連携がんばろう市」のようなイベントを一過性でなく、継続的に中山間地域で開催する考えはないか。

答 霧島ふるさと祭実行委員会による「霧島ふるさと祭」がお祭り広場駐車場で開催されている。本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、農大跡地で開催した。今後の開催等は、社会情勢や市内の行事等を考慮しながら、同実行委員会において協議されていくものと考えている。

JR肥薩線存続のために 官民で知恵を絞ろう

問 JR肥薩線吉松〜隼人間の利用促進をどのように



がんばろう市の様子

答 10月20日に、肥薩線利用促進・魅力発信協議会の構成自治体と共にJR九州本社を訪問し、被災した区間の早期復旧や、「はやとの風」を活用した修学旅行の誘致について協力を依頼した。

その他の質問

・戦争遺品資料館（平和会館）の建設と戦争遺構について



成年後見制度の 利用促進を

鈴木てるみ 議員

問 将来、認知症などで判断能力が低下し頼る人がいなくても、成年後見制度を利用すれば安心である。本市は本事業を社協に委託しているが、利用促進を推進するなかでの役割分担はどうか。

答 社協は当制度の実務を、市は国の方針を示すと共に、委託元として社協と積極的に連携を図っている。

子どもの健やかな成長と 未来を守る取組を

問 国は子宮頸がん予防ワクチンのリーフレットを対象者に届けるよう示している。現在、多くの市町村がリーフレットの個別送付を行っているが、本市の状況はどうか。



厚労省作成の新しいリーフレット

答 現高校1年生に限って対応していく。

